

都市再生整備計画

うえだ えき しゅうへん ち く
上田駅周辺地区

ながのけん うえだし
長野県 上田市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	ウエダシ 上田市	地区名	上田駅周辺地区	面積	322	ha
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	
				交付期間	令和	6	年度	～
								10
								年度

<p>目標</p> <p>大目標：上田城跡の復元的整備とその景観形成や、市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進し、市街地の回遊性を高め、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る。</p> <p>目標1：上田城跡の復元的整備とその景観形成</p> <p>目標2：市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりにより市街地の回遊性を高める</p> <p>目標3：広場・道路等の新たな利活用により、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>本地区は、平成9年の北陸新幹線開業にあわせ、駅前再開発や無電柱化事業が行われた地区である。しかし25年以上が経ち中心市街地では空洞化が進み、都市としての求心力も低下している。一方で、商業・公共施設などの都市機能が集積した市街地に位置し、上田城跡、サントミュージゼ(交流文化芸術センター・美術館)をはじめとした歴史風致的・文化的資源が多く点在している。こうしたことから、上田駅を中心とした中心市街地において、その魅力を更に向上させるため、上田城跡の復元的整備とその景観形成や、市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進し、市街地の回遊性を高め、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る。</p> <p>観光拠点である上田城跡公園と柳町、上田市の玄関口である上田駅を三つの拠点とし、それらをつなぐネットワークを軸に、「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりのエリアビジョンを作成し、「賑わいのある上田市街地」の再生を点から線そして面と総合的に取組む。</p> <p>立地適正化計画では、本地区のまちづくり方針を自然景観とともに、上田城跡・城下町や蚕都のなごりが残るまちなみなど、風格ある都市景観と歴史的風致を保全し、歴史的遺産・自然的資源を回遊する歩行者ネットワークを形成することとしている。土地利用の誘導方針としては、中心部にふさわしい都市機能の充実と適切な土地利用の誘導を行い、城下町、宿場町のなごりがある景観と自然とが調和した都市空間の形成を目指すこと、市街地では既存の都市基盤を活用し、まちなか居住を推進するための周辺の環境と調和した良好な住環境の保全・形成を目指すこととしている。</p>
--

<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・上田市は平成18年3月、旧上田市・丸子町・真田町・武石村の1市2町1村の市町村合併以来、市全体の一体感の醸成を図るとともに「参加と協働」「地域内分権」の考え方により、まちづくりを進めてきた。</p> <p>・平成27年3月の上田市都市計画マスタープランでは、将来都市構造として「各拠点の連携(ネットワーク)を強め、一体的かつ持続可能な集約型都市構造(コンパクトシティ)の構築の推進」と掲げ、その方向性が示されている。また、歩行者や自転車が安全快適に通行でき、公共交通の利便性の高い交通環境の整備を課題にあげている。</p> <p>・同マスタープランの地域別都市づくり方針では、上田中央地域の将来像を「中心市街地に集積された都市機能、風格ある景観、潤いある近郊農地 多彩な交流と活力がみなぎるまち」と掲げ、その方向性が示されている。</p> <p>・平成28年には上田城を築城した真田昌幸の子、真田信繁(幸村)の生涯を描いた大河ドラマ「真田丸」が放送され、上田城跡公園に整備したドラマ館をはじめ、様々な施策を進め、多くの観光客を迎えることができ、市の一体感の醸成に一役を担った。</p> <p>・上田城跡では、本丸の櫓復元に向けて、多額の寄付が集まっていることから、現在古写真、古文書、絵図などの資料を懸賞金制度を設け募集を行っており、上田城跡の復元的整備に寄せる市民からの期待は大きい。</p> <p>・平成31年3月には、上田市立地適正化計画を策定し、持続可能な「拠点集約型都市構造」の実現と共に、恵まれた地域資源を大切に、人々の交流と賑わいの創出を図るため、多彩な地域資源の有効活用と相乗効果による「人々の交流を育む都市」を目指している。</p> <p>・平成31年3月には、上田市緑の基本計画を策定し、「『緑』の恵み豊かな健幸都市 上田」を上田市の目指す緑の将来像とし、すべての市民が豊かな緑の恵みを楽しみ、健康で幸せに住み続けることのできる「まちづくり」と、観光客が何度も訪れたくなる「まちづくり」を目指している。</p> <p>・令和2年6月に信州上田・塩田平が日本遺産に認定され、上田市を訪れる要素の一つとなっている。</p> <p>・長野県では令和3年4月に「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」が策定され、「2050年『まち』が『みどり』であふれる」そんな未来を実現するため、令和3年7月17日には長野県知事と長野市・松本市・上田市・飯田市の4市長による共同宣言を行った。また、同計画のアクションプランに基づき、県及び長野市・松本市・上田市・飯田市が共同で「グリーンインフラエリアビジョン」を策定し、グリーンインフラ推進に取り組んでいる。</p> <p>・令和3年3月の「第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画」では、将来都市像を「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」と掲げ、「住んでよし 訪れてよし 子どもすくすく幸せ実感 うえだ」をキャッチフレーズに市民一人ひとりがライフスタイルにあった幸福を感じ、いきいきと健康に暮らせる、人と人がつながるまちづくりを目指している。</p> <p>・令和5年2月には歴史的風致維持向上計画が認定され、地域のまちづくりと一体となった歴史的文化的遺産の整備・活用を推進し、まちの個性と独自性を輝かせ、観光の振興及び交流人口の増大、ならびに市全体の活性化につなげることを目的としている。</p> <p>・上田市の現在の人口152,986人(R5.4.1)は、国立社会保障・人口問題研究所によると、12年後の2035年には139,144人(9%減少)、22年後の2045年には127,840人(16%減少)と推計している。</p>
--

<p>課題</p> <p>・上田城跡公園への来場者は年間100万人以上と多いが、他の観光地(柳町等)への回遊を促す、ゆとりある歩行者空間の整備・充実がなされていない。</p> <p>・上田市の玄関口である上田駅の駅前広場は、通過人口が多い場所であるにもかかわらず、ほとんど活用されていない。</p> <p>・上田駅、上田城跡公園、柳町の3つの拠点を結ぶ歩行空間には、憩い・待合い等できる空間や木陰が少ない。</p>
--

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>「第二次上田市総合計画」</p> <p>・「コンパクトなまちづくりの推進」… ①中心市街地や各地域自治センターを中心とした拠点集約型の都市づくりを進める。②歩いて暮らせる健幸都市づくりのため、各拠点を公共交通などで連携したネットワークの充実を図る。</p> <p>・「安全で快適な歩行空間の整備」… ①都市計画道路や幹線道路の整備に併せて、歩道や自転車道の整備を推進する。</p> <p>・「災害に強いまちづくりの推進」… ①道路の無電柱化を進め、災害時の電柱倒壊などのリスクを低減し、ライフラインや緊急輸送路の確保を図る。</p> <p>・「将来にわたり持続可能な公共交通網の確保・維持」… ①市民が快適に、通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、バス相互やバスと鉄道の連携など、公共交通機関のネットワーク化を図る。</p> <p>・「健幸都市の実現に向けた公共交通機関の活用」… ①健幸都市の実現に向け、公共交通機関を利用し、駅やバス停まで歩くことで健康増進を図るなど、健康面からのアプローチを図る。</p> <p>・「都市緑化の推進」… ①「上田市緑の基本計画」に基づき、市民、事業者との役割分担・連携のもと、公共施設や民有地の都市緑化を推進する。</p> <p>・「中心市街地への回遊の促進」… ①商店街などの取組を通し、上田城や柳町を訪れる観光客の商店街への回遊を促す。</p> <p>・「ウォーキングによる交流や健康づくりの推進」… ①ウォーキングに関する様々な情報をホームページ、SNSなどにより手軽に情報交換できる仕組みを整える。</p> <p>・「歴史的資源を活用した観光施策の取組」… ①「真田氏」ゆかりの観光素材に加え、文化施設(博物館、美術館、資料館など)、寺社などの文化遺産、製糸業関連の近代化産業遺産、地域の偉人・先人などの歴史的・文化的資源を組み合わせた観光PRIによる誘客促進を進める。</p> <p>・「上田ならではの「食」の活用」… ①農商工観連携による特色ある土産品の開発や「美味(おい)だれやきとり」といったご当地グルメ、信州蕎麦、おやきなどの郷土料理、松茸、山菜、川魚など季節の食べ物を活用する。②地酒、味噌、ワインなど、発酵文化を素材として活用する。</p> <p>・「上田市の知名度向上に向けたPR」… ①「上田城千本桜まつり」をはじめ、四季折々の魅力あるイベントを開催し、さらなる知名度の向上を図り、観光客の誘客を進める。</p>

<p>都市構造再編集中支援事業の計画</p> <p>都市機能配置の考え方</p> <p>・平成31年3月に策定した、上田市立地適正化計画に準じ、上田駅を中心とする周辺区域に「都市機能誘導区域」を設定し、多様な施策の中で既存の都市機能施設の維持を図るとともに、必要な都市機能誘導施設を、低未利用土地の活用等も含め都市機能誘導区域内への誘導を図り、利便性とまちなかの賑わいを維持・向上し、人の流れを誘導する。</p> <p>・大規模商業施設や救命救急医療及び入院救急医療を担う病院、高等教育機関等、多くの市民が利用する高次都市機能を維持していくことに加え、市民が健康で暮らし続けることを支援する施設、市民の暮らしを豊かにする文化施設等の維持と必要な都市機能施設の誘導を図る。</p>
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
上田城跡公園の来場者数	(万人/年)	上田城跡公園の来場者数	上田城跡の復元的整備とその景観形成により上田城跡公園の魅力度がアップし来場者が増加する。	126.1万人/年	R4年度	145.0万人/年	R10年度
広場・道路を活用したイベント開催数	(件/年)	公共空間利用行為申請・占用申請の件数	回遊性の向上、魅力ある滞留空間・交流拠点の創出によって歩行者空間の魅力度が増加する。	24件/年	R4年度	34件/年	R10年度

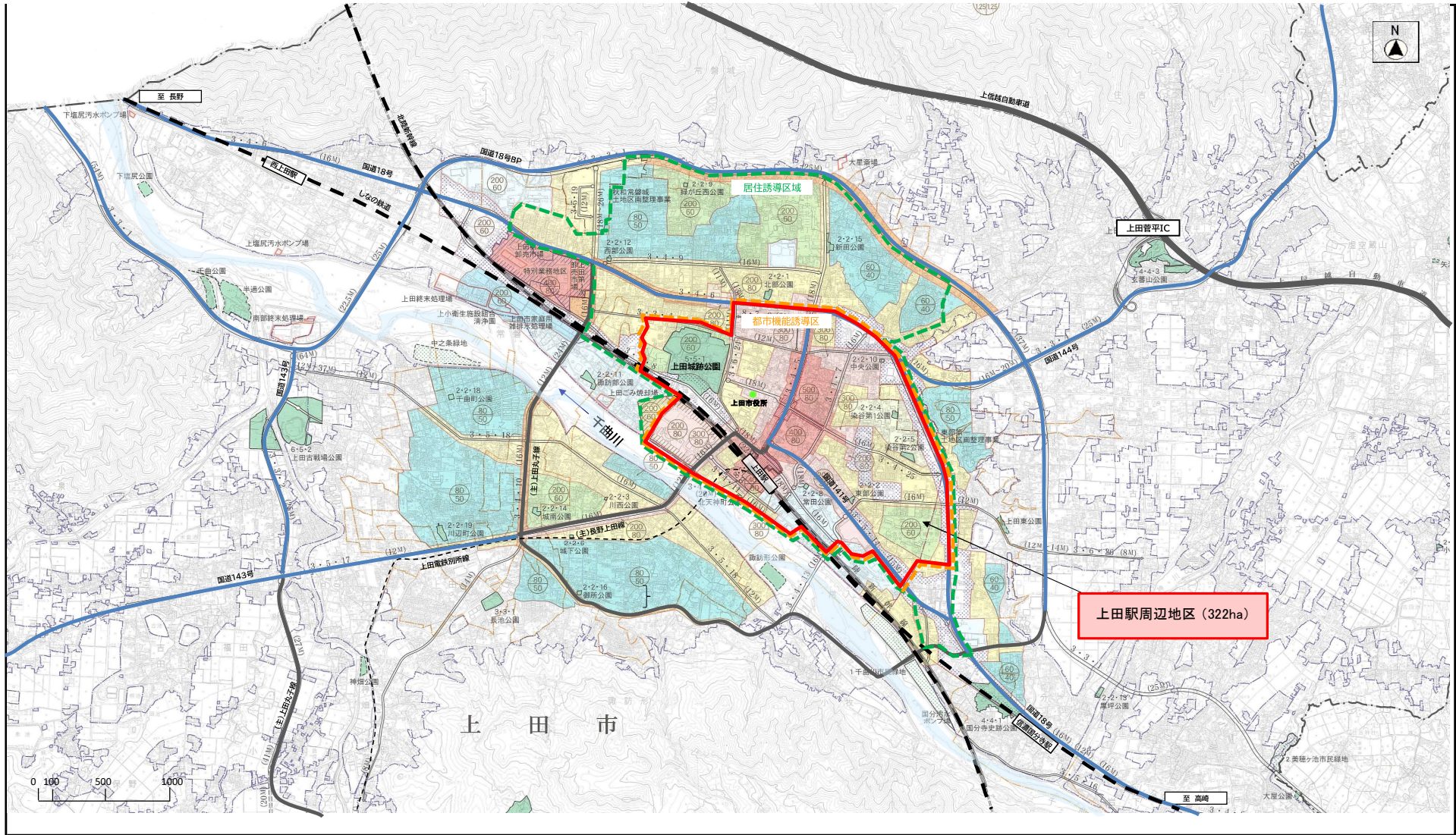
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【上田城跡の復元的整備とその景観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田城跡では、本丸の櫓復元に先立ち、江戸時代の上田城の姿に近づけるため、「武者溜り」の復元的整備を行う。 ・上田城跡で実施する「武者溜り」整備に併せ隣接する市道天神町新屋線の電線類地中化及び歩道の高質化整備による、景観形成を行う。 ・上田城跡を来訪する方が安全に歩行できるよう、市道天神町新屋線の歩道未整備区間に歩道を整備する。 	<p>【基幹事業】(公園)上田城跡公園 【基幹事業】(高質空間形成施設)市道天神町新屋線 【基幹事業】(道路)市道天神町新屋線</p>
<p>【市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりにより市街地の回遊性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田駅、上田城跡、柳町の3つの拠点を結ぶ歩行空間には、憩い・待合い等できる空間や木陰が少ないため、気軽に立ち寄れるポケットパークの整備 ・歩行者や自転車及安全快適に通行できる道路環境整備 ・上田駅前エリア・上田城跡エリア・柳町エリアの3拠点とそれらをつなぐネットワークを軸としたエアロビジョンを策定し、市街地の回遊性を高め、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進するための計画立案を行う。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)大手門まちかどテラス 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)上田駅 駅前広場 【基幹事業】(既存建造物活用事業 高質空間形成施設)上田駅 駅前広場 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)社会実験(利便性向上の検証) 【基幹事業】(高質空間形成施設)市道天神町新屋線 【基幹事業】(道路)市道天神町新屋線 【提案事業】(地域創造支援事業)(自転車通行空間整備) 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)(専門家派遣(都市デザインアドバイザー))</p>
<p>【広場・道路等の新たな利活用により、「賑わいのある上田市街地」の再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩い・待合い等のための滞留空間の整備 ・上田駅の駅前広場は、通過人口が多い場所であるにもかかわらず、憩い・待合い等できる空間となっていないため、滞留人口を増やすため広場としての再整備を行うことで新たな市街地拠点として、賑わいと交流の創出を目指す。 ・上田駅駅前広場(お城口、温泉口)においては駅前広場を活用した社会実験を実施し、駅前広場の新しい活用方法について検証する。 ・柳町では来訪者に安全に滞在していただくため、車両の一方通行規制による社会実験を実施する。 	<p>【基幹事業】(公園)上田城跡公園 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)大手門まちかどテラス 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)上田駅 駅前広場 【基幹事業】(既存建造物活用事業 高質空間形成施設)上田駅 駅前広場 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)社会実験(利便性向上の検証)</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月 歴史的風致維持向上計画認定 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費		1,820	交付限度額		910	国費率		0.5	(金額の単位は百万円)											
基幹事業																				
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C						
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分								
道路	電線共同溝 歩道整備	市道天神町新屋線	上田市	直	L=250m	6	9	6	9	230	230	230	230	-						
公園		上田城跡公園	上田市	直	A=15,000㎡	6	10	6	10	1,327	1,327	1,327	1,327	2.71						
古都保存・緑地保全等事業																				
河川																				
下水道																				
駐車場有効利用システム																				
地域生活基盤施設	広場	大手門まちかどテラス	上田市	直	A=700㎡	6	9	6	9	77	77	77	77	-						
地域生活基盤施設	広場	上田駅 駅前広場	上田市	直	A=600㎡	8	8	8	8	15	15	15	15	-						
高質空間形成施設	緑化施設等	市道天神町新屋線	上田市	直	L=250m	7	10	7	10	106	106	106	106	-						
高次都市施設①地域交流センター																				
観光交流センター																				
テレワーク拠点施設																				
子育て世代活動支援センター																				
複合交通センター																				
誘導施設 医療施設																				
社会福祉施設																				
教育文化施設																				
子育て支援施設																				
元地の管理の適正化																				
基幹的誘導施設																				
既存建築物活用事業	高質空間形成施設	上田駅 駅前広場	上田市	直	N=1基	6	7	6	7	45	45	45	45	-						
土地区画整理事業																				
市街地再開発事業																				
住宅街区整備事業																				
バリアフリー環境整備事業																				
優良建築物等整備事業																				
住宅市街地総合整備事業																				
街なみ環境整備事業																				
住宅地区改良事業等																				
都心共同住宅供給事業																				
公営住宅等整備																				
都市再生住宅等整備																				
防災街区整備事業																				
復興促進事業																				
エリア価値向上整備事業																				
合計															1,800	1,800	1,800	0	1,800	2.7
提案事業																				
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C						
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分								
地域創造支援事業	社会実験(自転車通行空間整備)	市道新参町線等	上田市	直		6	6	6	6	5	5	5	5							
事業活用調査																				
まちづくり活動推進事業	社会実験(利便性向上の検証)	上田駅駅前広場等、柳町等	上田市	直		6	10	6	10	5	5	5	5							
動推進事業	専門家派遣(都市デザインアドバイザー)	上田城下町(エリアビジョン形成)	上田市	直		6	7	6	7	10	10	10	10							
合計															20	20	20	0	20	
居住誘導促進事業																				
事業	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C							
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分									
居住誘導促進事業																				
合計															0	0	0	0	0	
合計(A+B+C)															1,820					
(参考)都市構造再編集中支援関連事業																				
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれか1に○)				事業期間		全体事業費									
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度										
合計															0					
(参考)関連事業																				
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれか1に○)				事業期間		全体事業費									
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度										
シェアサイクル利用促進事業	上田地域	上田市	内閣府			○				R3	R8	24								
運賃低減バス実証運行	上田市全域	上田市	-				○			H25	R7	54								
街なみ環境整備事業	市道新参町線	上田市	国土交通省							R4	R7	54								
合計															132					

<p>上田駅周辺地区(長野県上田市)</p>	<p>面積</p>	<p>322 ha</p>	<p>区域 大手一、二丁目、中央一～六丁目、中央西一丁目の一部、天神一丁目～三丁目、天神四丁目の一部、常盤城一丁目の一部、材木町一丁目、常田一丁目～三丁目、踏入二丁目、二の丸</p>
------------------------	-----------	---------------	---

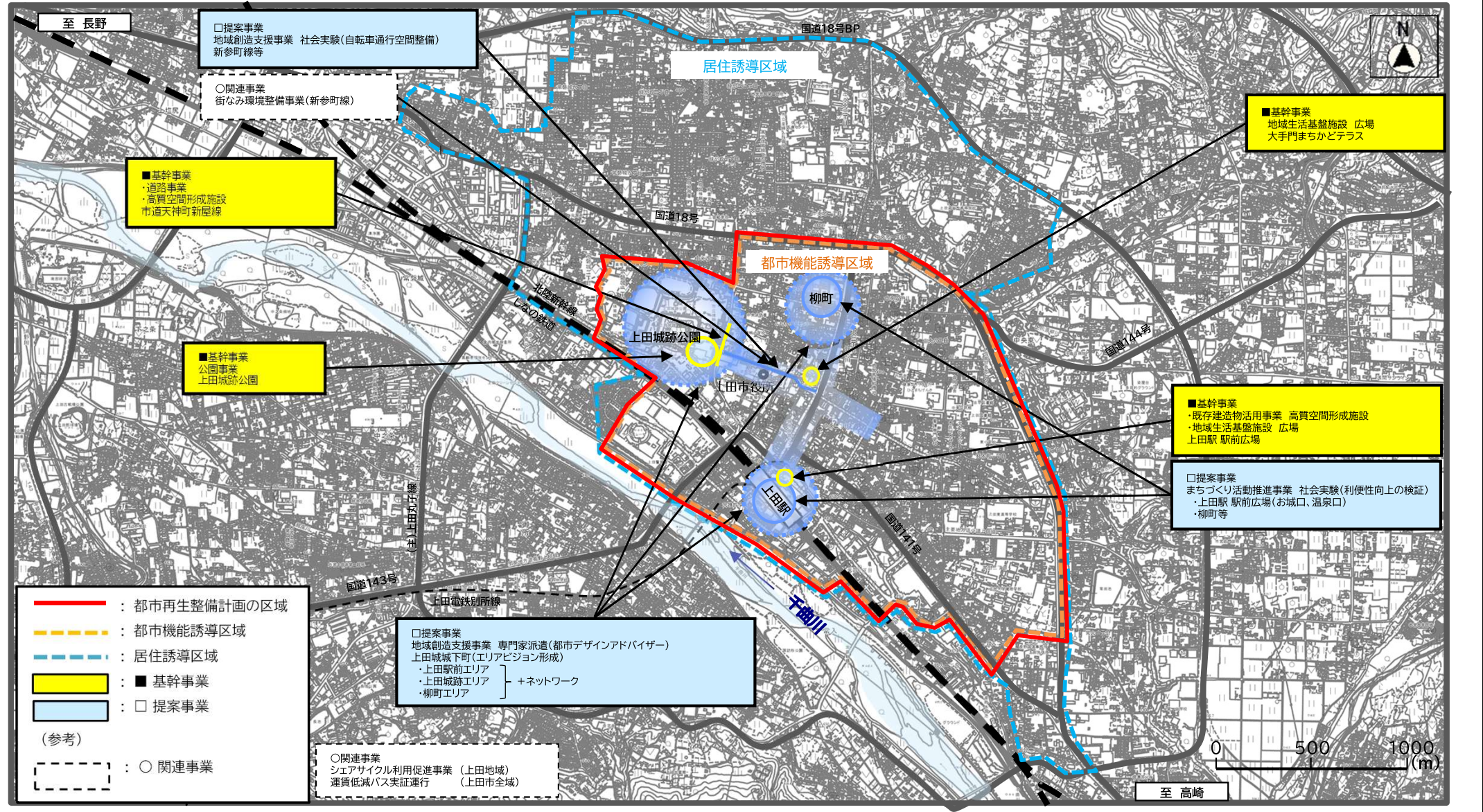


上田駅周辺地区(長野県上田市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標 上田城跡の復元的整備とその景観形成や、市街地に点在する拠点間を結ぶ「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進し、市街地の回遊性を高め、「賑わいのある上田市街地」の再生を図る。

代表的な指標

上田城跡公園の来場者数 (万人/年)	126.1	(4年度)	→	145.0	(10年度)
広場・道路を活用したイベント開催数 (件/年)	24	(4年度)	→	34	(10年度)



□提案事業
地域創造支援事業 社会実験(自転車通行空間整備)
新参町線等

○関連事業
街なみ環境整備事業(新参町線)

■基幹事業
・道路事業
・高質空間形成施設
市道天神町新屋線

■基幹事業
公園事業
上田城跡公園

■基幹事業
地域生活基盤施設 広場
大手門まちかどテラス

■基幹事業
・既存建物活用事業 高質空間形成施設
・地域生活基盤施設 広場
上田駅 駅前広場

□提案事業
まちづくり活動推進事業 社会実験(利便性向上の検証)
・上田駅 駅前広場(お城口、温泉口)
・柳町等

□提案事業
地域創造支援事業 専門家派遣(都市デザインアドバイザー)
上田城下町(エリアビジョン形成)
・上田駅前エリア
・上田城跡エリア
・柳町エリア } +ネットワーク

○関連事業
シェアサイクル利用促進事業 (上田地域)
運賃低減バス実証運行 (上田市全域)

- : 都市再生整備計画の区域
- - - : 都市機能誘導区域
- : 居住誘導区域
- : 基幹事業
- : 提案事業
- (参考)
- : 関連事業

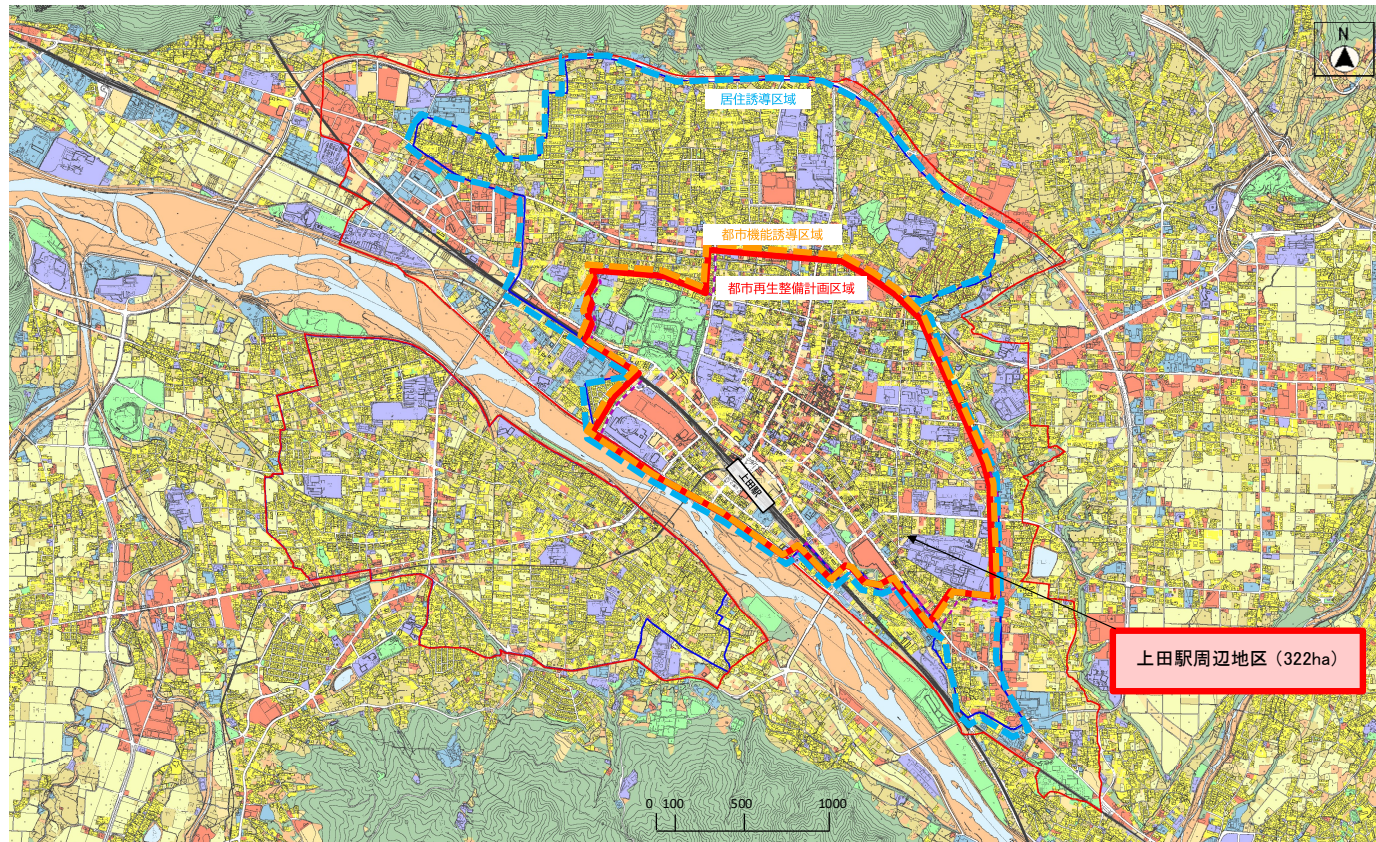
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

うえだ えきしゅうへん ちく ながの けんう えだし
上田駅周辺地区 (長野県上田市)

活用する事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	
コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>
地域生活拠点支援型	<input type="checkbox"/>
経過措置	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	
防災拠点・コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
防災拠点・郊外支援型	<input type="checkbox"/>
経過措置	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	
コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>
地域生活拠点支援型	<input type="checkbox"/>

上田駅周辺地区(長野県上田市) 現況図



田	
畑	
山林	
水面	
その他の自然地	
住宅用地	
商業用地	
工業用地	
公益施設用地	
道路用地	
交通施設用地	
公共空地	
その他の公的施設用地	
その他の空地	
用途地域指定区域	
都市計画区域	
居住誘導区域	
都市機能誘導区域	

交付限度額算定表(その1)

上田駅周辺地区(長野県上田市)兼式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	910.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	88,042.0 百万円	X≤Yゆえ、本計画における交付限度額	910.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	1,449,000 m ²
-----------	--------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	3,220,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○ 区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Ci	227,950 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	4
公示価格の平均値(円/m ²)	69,550

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

都市再生整備計画関連事業とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	748,200 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ	
--------------------	--

	面積(m ²)	割合
道路	555,000	0.17
公園	178,400	0.06
広場	14,800	0
緑地	-	-
公共施設合計	748,200	0.23

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	87,932 百万円
-----------------------------	------------

ΣCn	219,640,000 円
------------	---------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	3,220,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
----------------------------	-----

上限床面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	449,550

調整池	0 円
------------	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
-----------	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
-------------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000
	北海道一般地区	38,190,000
	特別地区	49,120,000
	大都市地区	37,170,000
	多雪寒冷地区	41,510,000
	奄美地区	39,520,000
	沖縄地区	30,280,000
	一般地区	33,700,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
-------------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	219,640,000 円
---------------	---------------

電線共同溝等延長(m)	323
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
-------------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
-------------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	88,042 百万円
----------------------------	------------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	910.0 百万円
-----------	-----------

<都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォークラブル推進事業>

交付限度額(X4)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集中支援事業)

【当初から都市構造再編集中支援事業を実施する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,800.000
	提案事業合計(B)	20.000
	合計(A+B)	1,820.000

(事業費)
(事業費)
(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は0を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域(地域生活拠点を含む)の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外(地域生活拠点内を除く)>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	0.000
	提案事業合計(D)	0.000
	合計(C+D)	0.000

(事業費)
(事業費)
(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D)) + (10/10 \times (E+F))$ (α 1)	1,820.000	①
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(10/9 \times (A+C+E))$ (α 2)	2,000.000	②
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C+E))$		
α (①、②の小さい方)	1,820.000	③

<地域生活拠点内>

交付対象事業費	基幹事業合計(E)	0.000
	提案事業合計(F)	0.000
	合計(E+F)	0.000

(事業費)
(事業費)
(事業費)

交付限度額(③+④) × 1/2

910.000	⑤ (国費)
---------	--------

<居住誘導促進事業>

交付対象事業費	合計(a)	0.000
---------	-------	-------

④ (事業費)

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D+E+F+a)	1,820.0
------------------------	---------

(事業費)

交付要綱に基づく交付限度額 (⑤を1万円の位を切り捨て)	910.0	(国費)
国費率	0.500	(国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-⑤-1
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
細項目									
道路	電線共同溝・歩道整備	市道天神町新屋線	上田市	230	20	100	90	20	0
公園		上田城跡公園	上田市	1,327	56	441	300	300	230
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	広場	大手門まちかどテラス	上田市	77	20	10	35	12	0
地域生活基盤施設	広場	上田駅 駅前広場	上田市	15	0	0	15	0	0
高質空間形成施設	緑化施設等	市道天神町新屋線	上田市	106	0	20	6	30	50
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	テレワーク拠点施設								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
誘導施設	医療施設								
	社会福祉施設								
	教育文化施設								
	子育て支援施設								
	元地の管理の適正化								
基幹的誘導施設									
既存建造物活用事業	高質空間形成施設	上田駅 駅前広場	上田市	45	5	40	0	0	0
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
エリア価値向上整備事業									
計				1,800	101	611	446	362	280
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
細項目									
地域創造 支援事業	社会実験(自転車通行空間整備)	市道新参町線等	上田市	5	5	0	0	0	0
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業	社会実験(利便性向上の検証)	上田駅前広場等、柳町等	上田市	5	1	1	1	1	1
	専門家派遣(都市デザインアドバイザー)	上田城下町(エリアビジョン形成)	上田市	10	5	5	0	0	0
計				20	11	6	1	1	1
居住誘導促進事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
細項目									
居住誘導促進事業									
計				0	0	0	0	0	0
合計				1,820	112	617	447	363	281
累計進捗率 (%)					6.2%	40.1%	64.6%	84.6%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
シェアサイクル利用促進事業	上田地域	上田市	24	8	8	8	0	0
運賃低減バス実証運行	上田市全域	上田市	54	27	27	0	0	0
街なみ環境整備事業	市道新参町線	上田市	54	47	7	0	0	0
合計			132	82	42	8	0	0
累計進捗率 (%)				62.1%	93.9%	100.0%	100.0%	100.0%

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

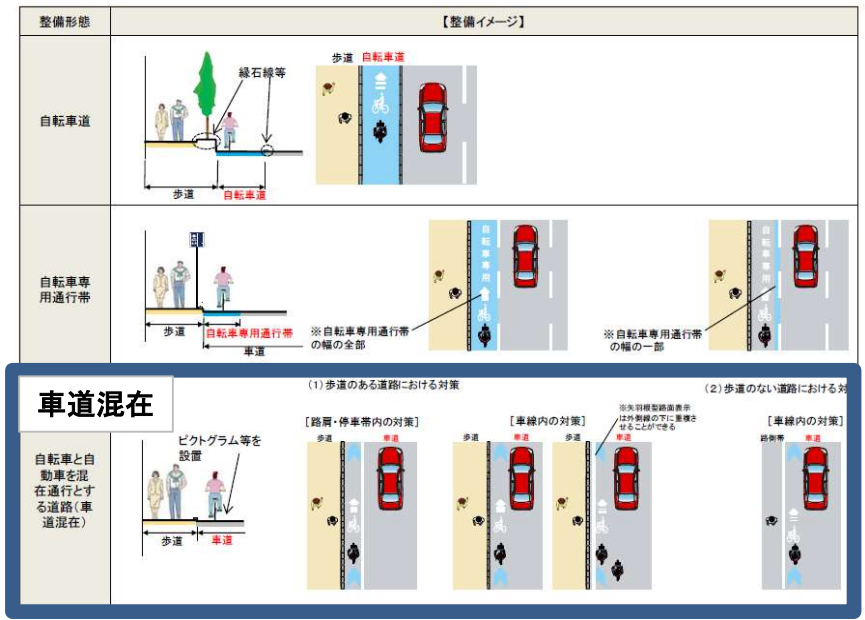
(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他	
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費・補償費	うち整備費	うち購入費			
地域創造支援事業 社会実験(自転車通行空間整備) 「市道新参町線等」	歩行者や自転車が安全快適に通行できるよう、自転車通行空間整備を試験的に行う。	上田市	L=520m	R6	R6	5			5		自転車通行空間整備	
まちづくり活動推進事業 社会実験(利便性向上の検証) 「上田駅前広場等、柳町等」	上田駅前広場(お城口、温泉口)においては駅前広場を活用した社会実験を実施し、駅前広場の新しい活用方法について検証する。 また、柳町では来訪者に安全に滞在していただくため、時間規制による車両通行止めや、車両の一方通行規制による社会実験を実施する。	上田市	A=3,800㎡ L=130m	R6	R10	5	5				社会実験運営検証委託費	
まちづくり活動推進事業 専門家派遣(都市デザインアドバイザー) 「上田城下町(エリアビジョン形成)」	上田城下町エリア 上田駅前エリア・上田城跡エリア・柳町エリアの3拠点とそれらをつなぐネットワークを軸としたエリアビジョンを策定し、市街地の回遊性を高め、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進するための計画立案を行う。	上田市	3拠点 +2km	R6	R7	10	10				専門家派遣(都市デザインアドバイザー)委託費	

自転車通行空間整備 【提案事業 地域創造支援事業】

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

1. 自転車ネットワーク形成の進め方



↑ 新参町線 実証実験整備イメージ

図 I-6 基本的な整備形態 (イメージ)

市内に自転車通行空間整備(車道混在)が無く、市民に受け入れられるか不明なため、実証実験としての整備を行う。
好評であれば自転車活用推進計画を立案し、計画に沿って整備を促進する。

提案事業 まちづくり活動推進事業

社会実験(利便性向上の検証)の概要

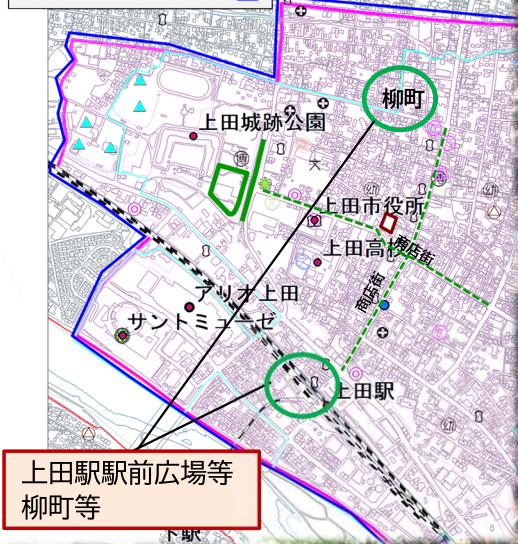
上田駅駅前広場の課題

上田市の玄関口である上田駅の駅前広場は、通過人口が多い場所であるにもかかわらず、ほとんど活用されていない。滞留人口を増やすため広場としての再整備を行うことで新たな市街地拠点として、賑わいと交流の創出を目指す整備・充実が求められている。

水車および広場のリニューアルに合わせて、広場の活用方法について社会実験を通して確認し、憩い・待合い等のための滞留空間にふさわしい活用方法を検証する。

社会実験イメージ

■都市構造再編集集中支援事業の区域



上田駅駅前広場等
柳町等



上田駅駅前広場

柳町 観光客と車両が混在しており安心して滞在できない

時間制限による車両通行止め イメージ

柳町の課題

柳町には、多くの来訪者が訪れているが、歩道もなく通過交通があり歩行者が安全快適に滞在できる道路環境整備となっていない。居住者も多いため、歩行者専用道路とすることは困難であることから、時間規制による車両通行止めや、一方通行規制等の社会実験を実施し、地域の意見も反映した道路等の新たな利活用ができないか検証する。

- ・上田駅駅前広場(お城口、温泉口)においては駅前広場を活用した社会実験を実施し、駅前広場の新しい活用方法について検証する。
- ・柳町では来訪者に安全に滞在していただくため、時間規制による車両通行止めや、車両の一方通行規制等による社会実験を実施する。

提案事業 まちづくり活動推進事業

専門家派遣(都市デザインアドバイザー)

上田城城下町エリアビジョン策定の概要

目的

業務内容

成果・展開

実施予定事業

まちなかエリアの目指すべき姿の共有・エリアマネジメント

上田城 城下町エリアビジョン策定業務

「上田城跡」「上田駅」「柳町」エリアの3拠点と、それらをつなぐネットワークを軸にしたエリアビジョン

成果→「都市デザインの方針」

【1】【エリア価値・魅力の調査】

- 来園者、来街者への聞き取りアンケート
- 世代別・学生向けアンケート、自治会等へのヒアリング
- エリア内のキーパーソンに対するヒアリング
- 歴史的資源、土地建物利用の分析

【2】【エリアの潜在力の分析】

- 上田城跡公園、上田駅 駅前広場、勤労者福祉センター、まちなか広場等の施設利用分析
- 利用者への聞き取り、ワークショップ
- 利用しやすい施設やエリアのあり方の提案

整備とそれ後の運営に反映
住む人・使う人側に望まれる都市デザインづくり

アクションプラン、事業展開

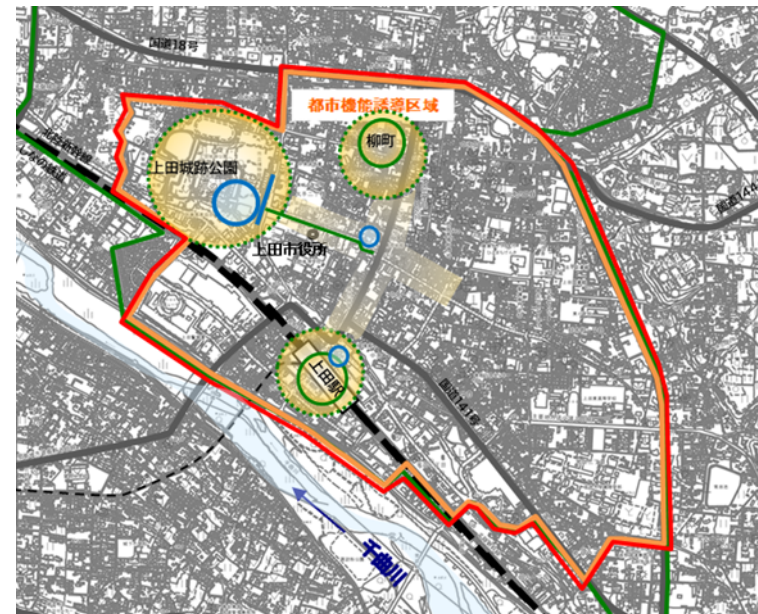
①城跡公園の整備・運営

武者溜り整備やPark-PFI

- ◎復元的整備を図りながら、利用者にとって使いやすく、魅力的な公園整備。
- ◎公民連携による駐車場等の管理運営

④天神町新屋線の整備

- ◎景観づくり、安全対策、無電柱化



②大手門まちかどテラスの整備

- ◎民間活力による賑わい創出
- ◎歩行者の憩いの場、小イベントの場所としての機能充実
- ◎デザインビルド、PPPの手法を検討

⑤公共施設の在り方検討

- ◎勤労者福祉センター

③上田駅 駅前広場のリニューアル

- ◎イベントに利用しやすい広場に改修
- ◎広場利用のルール、規制の見直し
- ◎水車を改修
- ◎デジタルサイネージの設置

⑥ ICTによる施設利用促進

- ◎公園や広場等の予約管理、決済システム
- ◎上記業務の民間委託

⑦観光案内サインの設置

- ◎上田城跡、駅、商店街等の案内と回遊を促すための誘導サインを適所に配置

道路

単位:百万円

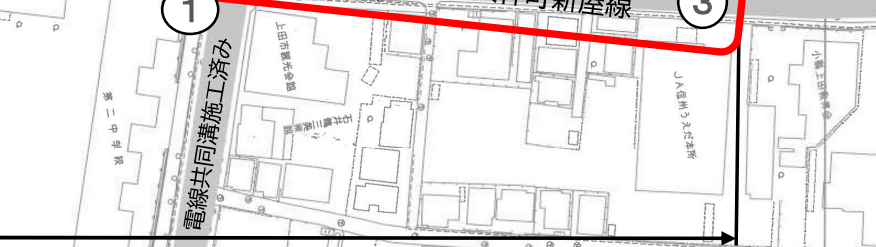
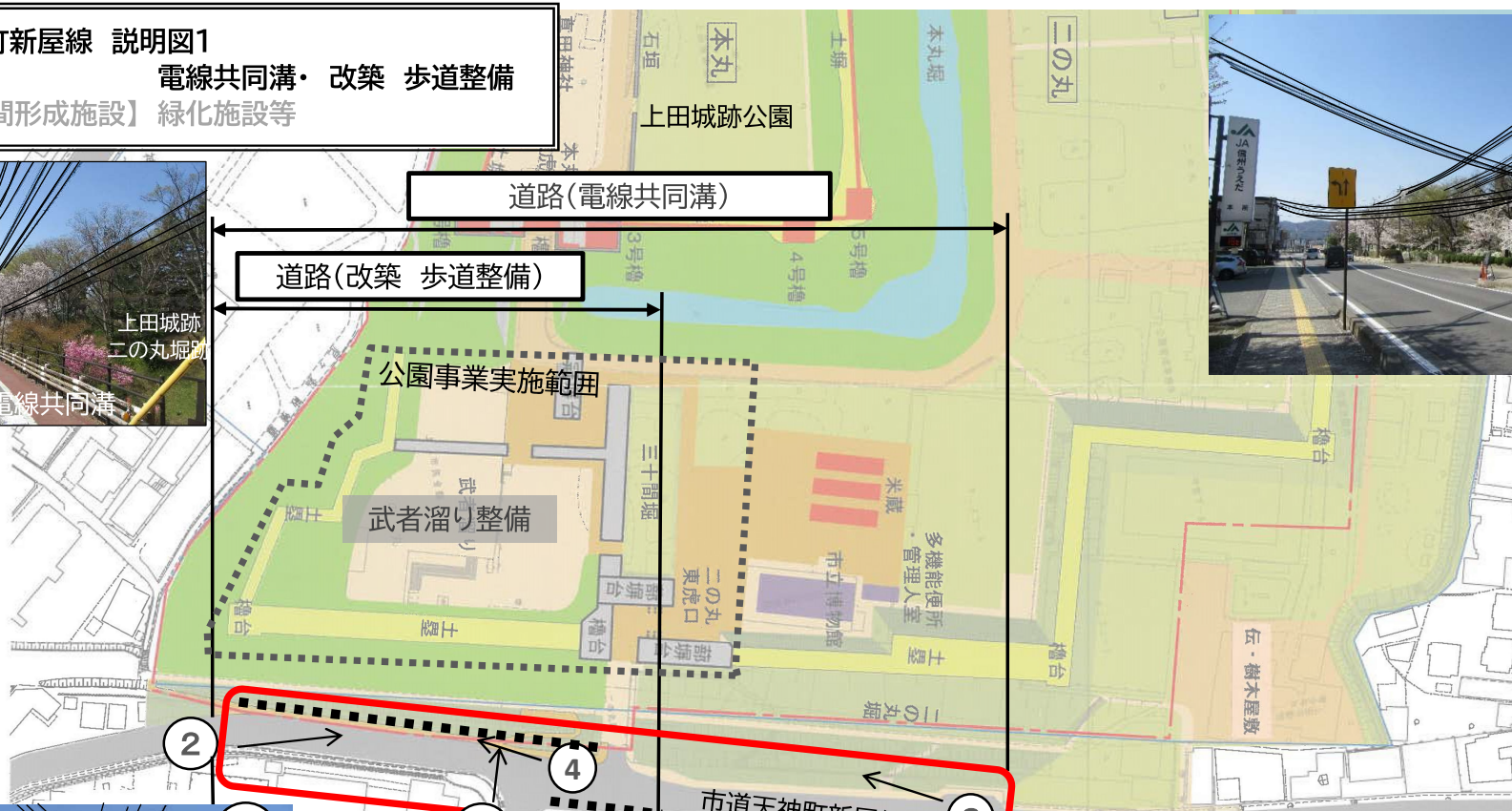
都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	交付期間 内事業費	交付期間内事業費内訳			交付期間内 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m				設計費	用地 費・補	施設整備費				
<道路>				-														
市道天神町新屋線	大手一丁目～二丁目	地	上田市	-	改築	250	11	11	2	2	230	20	10	200	R6～R9	・電線共同溝・歩道整備	S8	
	～			-														
	～			-														
	～			-														
	～			-														

(参考)

<関連事業>																		

市道天神町新屋線 説明図1

【道路】 電線共同溝・改築 歩道整備
 【高質空間形成施設】 緑化施設等

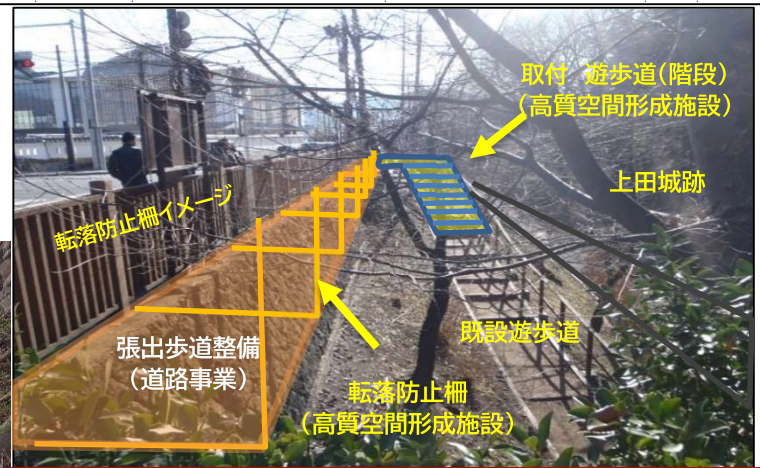
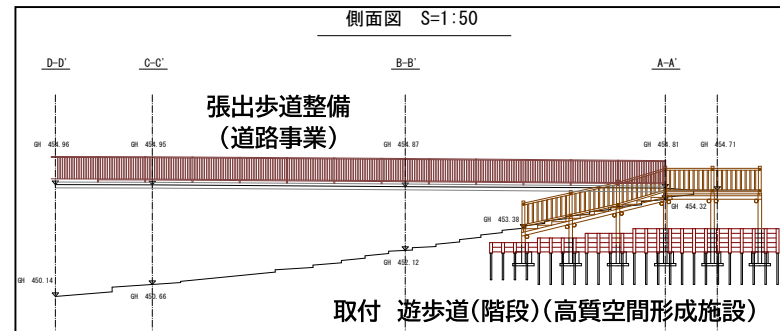
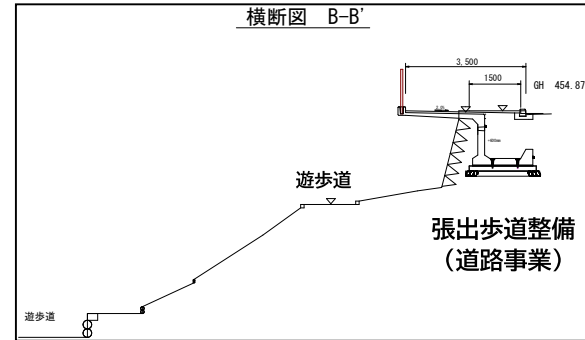
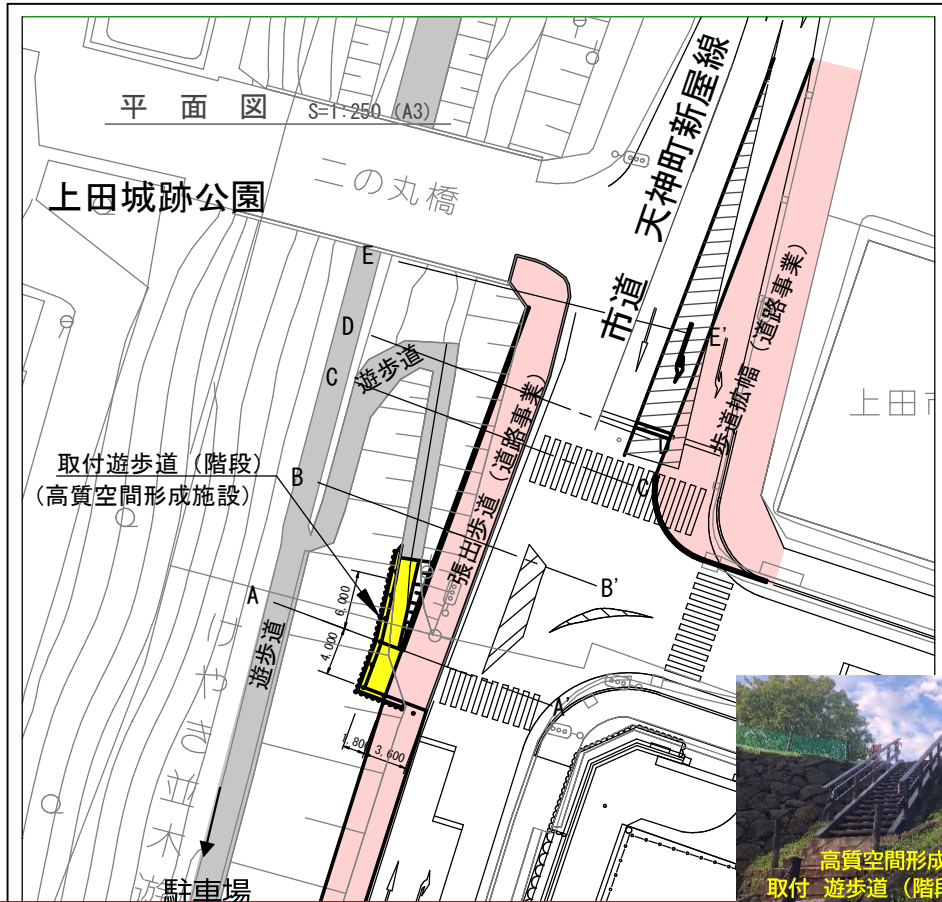


歩道美装化(植栽・緑化施設、インターロッキングブロック、縁石、照明施設、ストリートファニチャー、石張擁壁、階段、転落防止柵)

上田城跡公園(武者溜り)整備に合わせて隣接する市道の歩道整備、電線類地中化、歩道の高質化を一体的に整備することで、景観形成の相乗効果が期待できる。

市道天神町新屋線 説明図2
 【道路】 歩道整備(張出歩道)
 【高質空間形成施設】 緑化施設等(階段)

・天神町新屋線歩道整備概要図(案)



上田城跡公園(武者溜り)整備に合わせて隣接する市道に歩道を整備することで、安心して来場していただけるよう歩道整備を行う。
 上田城跡公園が史跡指定範囲となっているため、張出歩道および取付遊歩道の整備には、文化庁との協議が必要。また、協議により、計画は変更となることある。

公園(都市公園:その1)

ふりがな	うえだじょうせきこうえん	当初の都市計画決定 (*5)	昭和40年11月24日	事業期間	令和6年度～	令和10年度	施策公園名 (*6)
公園名又は地区名	上田城跡公園	直近の都市計画変更 (*5)	平成7年12月18日	(完成予定年度)		令和10年度	
種別 (*1)	総合公園	交付対象事業(*2)	A-1 都市公園	当初の事業認可取得時期 (*5)	昭和40年11月24日	全体事業費	歴史・観光関連公園
計画面積(ha) (*3)		供用済み面積(ha) (*4)	16.8	直近の事業認可取得時期 (*5)	平成8年2月8日	※単独費等も含んだ総事業費	
地区交付事業の場合は、Ⅰ～Ⅱのうち該当する事業に○を付けて必要事項を記入する。							
整備概要(目的、計画概要)							
<p>上田市のシンボルである上田城跡公園は、戦国時代に活躍した真田幸村の父・昌幸が築城した上田城があり、2度にわたり徳川の大军を退けたことで知られ、公園の一部が国指定史跡である。春には千本桜まつり、秋には紅葉まつりが行われ、多くの観光客や市民で賑わい、年間を通じて憩いの場となっている。しかし、史的な観点では、明治時代の民間への払い下げにより、本丸櫓は解体され、石垣や堀も一部撤去され、往時の姿を留めていない状況である。</p> <p>そこで「史跡上田城跡保存活用計画」及び「史跡上田城跡整備基本計画」の見直しを行い、国指定史跡上田城の文化財的価値を保全し、その価値と魅力のさらなる向上を図るため、城郭の正面となる二の丸東虎口周辺の「武者溜り」の復元的整備を進め、史跡の特色ある総合的な取組を図るとともに都市公園としての観光振興、地域活性化を推進する。</p>							
Ⅰ 緑化重点地区総合整備事業 () (*7)				Ⅱ 中心市街地活性化広場公園整備事業 () (*7)			
地区の位置づけ		緑の基本計画の策定時期	年 月	商業地域面積	広場公園地区に占める商業地域及び近隣商業地域の割合		%
()	①都市景観形成地区(都市の中心駅周辺、官公庁街や商業・業務の中心等都市の拠点となる地域であり、景観形成のために緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)			ha	中心市街地基本計画策定時期		年 月
()	②都市環境改善地区(クールアイランドや風の道の形成などによる都市のヒートアイランド現象の緩和、河川等と一体となったエコロジカルネットワークの形成など、都市環境の改善のために重点的に緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)			ha	ha	%	
()	③防災機能向上地区(避難地の面積が十分に確保できていない等防災上課題があり、緊急的に延焼防止帯等となる緑地の確保及び市街地の緑化を行う必要性が特に高い地区)			Ⅰ、Ⅱの事業地区において整備を実施する都市公園等			
				公園等名	種別等 (*8)	面積(m ²)	

公園(都市公園:その2)

ふりがな 公園名又は地区名	うえだじょうせきこうえん 上田城跡公園
------------------	------------------------

地域の抱える課題に対する当該公園又は地区の役割

上田市のシンボルである上田城跡公園は、戦国時代に活躍した真田幸村の父・昌幸が築城した上田城があり、2度にわたり徳川の軍を退けたことで知られ、公園の一部が国指定史跡である。春には千本桜まつり、秋には紅葉まつりが行われ、多くの観光客や市民で賑わい、年間を通じて憩いの場となっている。しかし、史的な観点では、明治時代の民間への払い下げにより、本丸櫓は解体され、石垣や堀も一部撤去され、往時の姿を留めていない状況である。史跡の特色ある総合的な取組を図るとともに都市公園としての観光振興、地域活性化を推進することが上田城跡公園の役割である。

用地取得計画(m ²)					施設整備計画(交付金事業で実施するもの)(*1)			
	交付期間以前	交付期間内取得面積	残面積	合計	備考	施設名	規模・構造・工法等	特記事項
買収						園路広場	園路、広場	
(内買い戻し)						修景施設	芝生	
国公有地	168,000			168,000		休養施設	休憩所、ベンチ	
その他						教養施設	城跡(石垣、土塁等)	
合計	168,000			168,000		便益施設	便所、水飲場、手洗場	
計画期間中の事業費								
費目	交付期間以前事業費	交付期間内事業費	残事業費	合計	備考			
交付金事業費	設計費		16	16				
	用地費・補償費							
	施設費		1,311	1,311				
	計		1,327	1,327				
単独事業費	設計費							
	用地費・補償費							
	施設費							
	計							
合計	設計費		16	16				
	用地費・補償費							
	施設費		1,311	1,311				
	計		1,327	1,327				
供用予定面積(m ²)								

上田城跡公園【公園】



上田城跡 武者溜り整備の概要



R5.2歴史的風致維持向上計画認定 武者溜りの復元的整備とその景観形成を行うことで上田城跡公園の魅力を更に向上させる

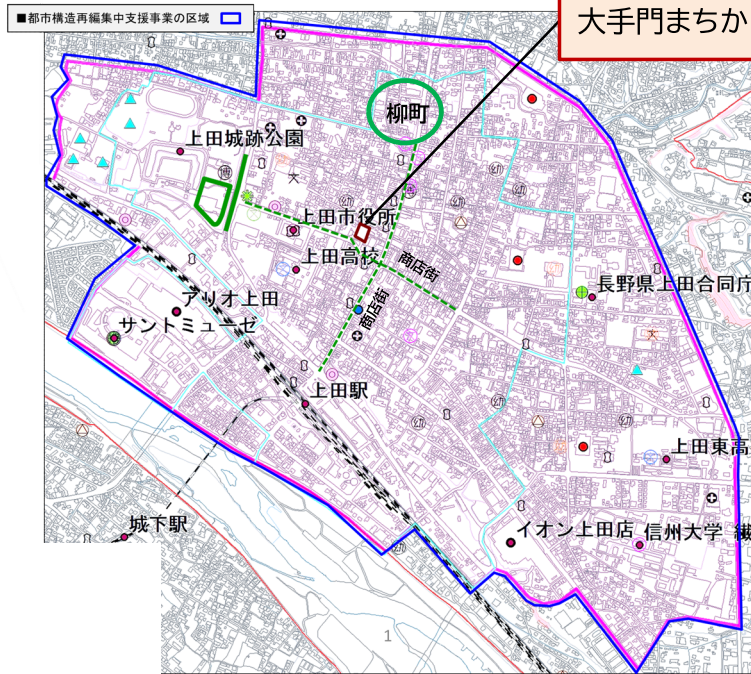
地域生活基盤施設

単位:百万円

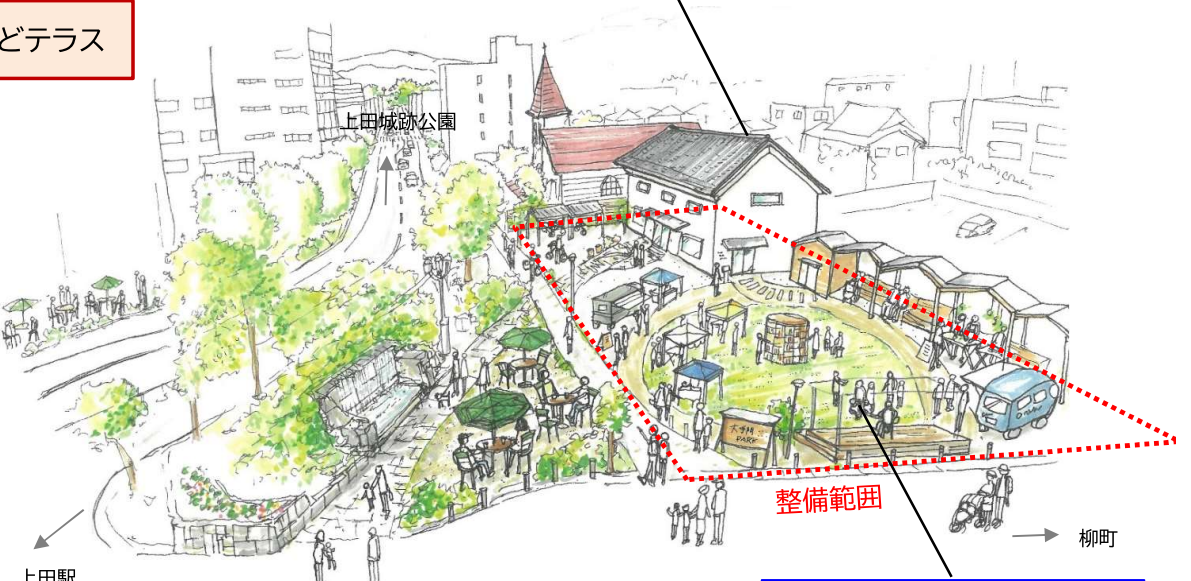
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (面積、幅員、 延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
						設計費	用地費・補 償費	施設整備費		
								うち購入費		
緑地									—	
広場	大手門まちかどテラス	上田市	広場整備 A=700㎡ 既存建造物改修 1棟	広場整備、既存建造物改修(耐震補強、休憩所、便所、倉庫)	77	10	20	47	—	
広場	上田駅 駅前広場	上田市	広場整備 A=600㎡	広場整備	15	0	0	15	—	
駐車場										
自転車駐車場										
荷物共同集配施設										
公開空地									—	
情報板									—	
地域防災施設	施設種別:									
人工地盤等										
分散型エネルギーシステム									—	
公共公益施設と一体的に整備する再生可能エネルギー施設等										
合計	—	—	—							

大手門まちかどテラス
【地域生活基盤施設 広場】

大手門まちかどテラス整備の概要



■既存建築物改修
【耐震補強、休憩所、便所、倉庫】



■広場整備



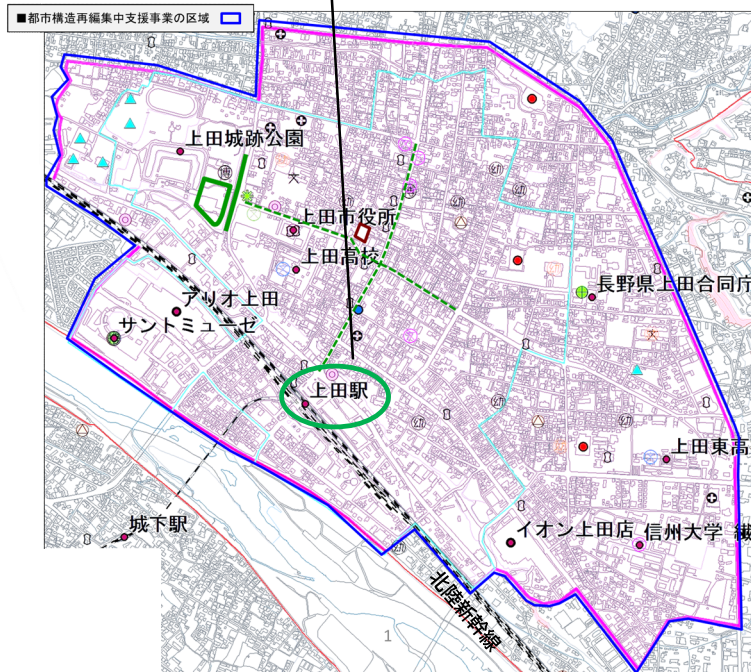
既存建築物改修

上田駅、商店街と上田城跡公園、柳町(観光地)の回遊性を高めるため 緑・潤いがあり、人との交流が生まれる居心地の良い滞留空間の整備

上田駅駅前広場
【地域生活基盤施設 広場】

上田駅 駅前広場

地域生活基盤施設 広場
■ 上田駅前広場



上田駅 駅前広場の概要

ステージ及び広場

- ・現レイアウトの場合、大勢が憩えるスペースの確保が難しい。
- ・植栽、ステージの現配置は、キッチンカー等の動線が確保できない。



既存建造物活用事業 高質空間形成施設
■ 水車リニューアル【緑化施設等(モニュメント)】

ステージ階段の範囲・勾配の変更
植栽の撤去

広場スペースの拡張

- ・キッチンカー等の動線を確保することで、イベントに適したスペース・機能を有する賑わいの場としてリニューアルする。
- ・市民や民間事業者へ積極的に貸出を可能とする「広場のオープン化」を図る。

上田の玄関口である上田駅 駅前広場を賑わいと交流の拠点にするため、憩い・待合い等できる広場に駅前広場をリニューアル
既存建造物活用事業 高質空間形成施設 による 水車リニューアルと一体的に整備することで、相乗効果が期待できる。

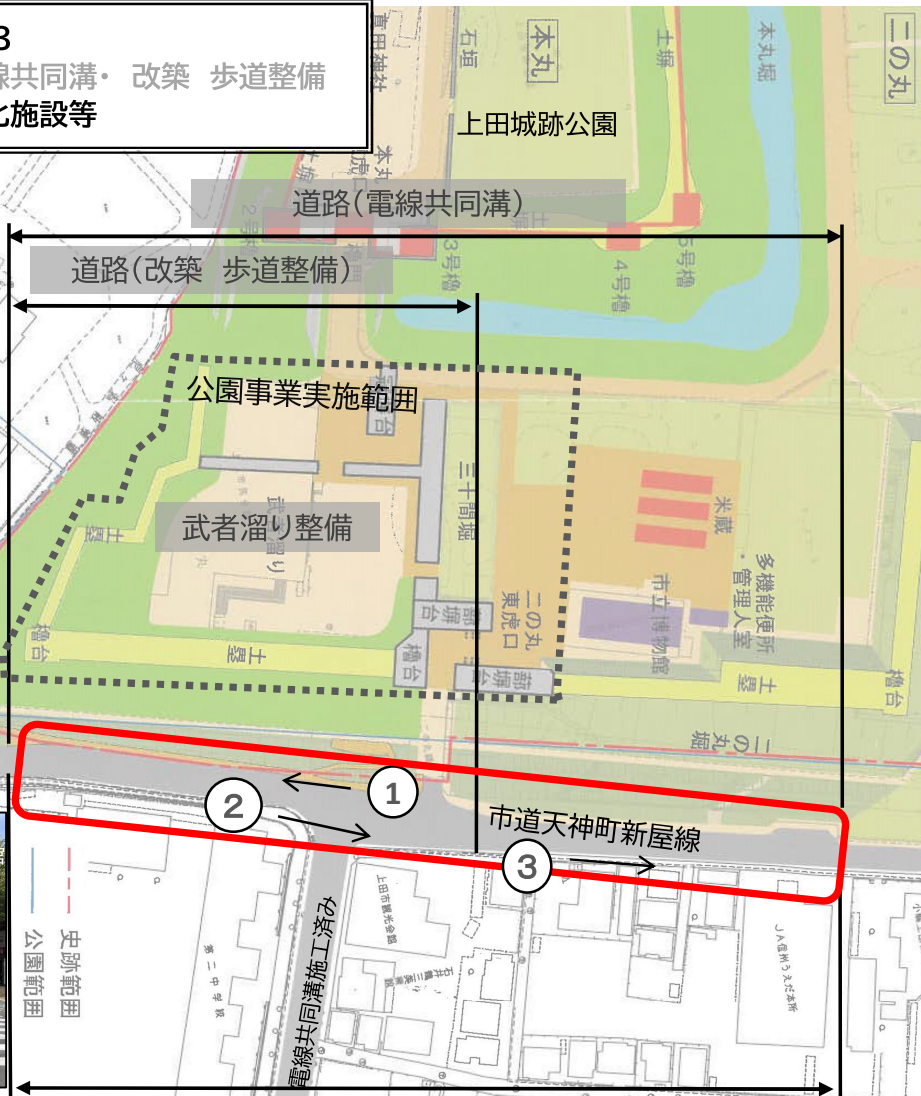
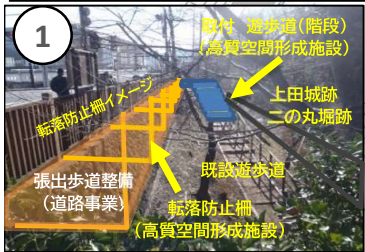
高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (箇所数、延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・補 償費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント、給電・給排水施設、土塁、堀跡等)	天神町新屋線	上田市	歩道美化 L=250m	緑化施設等(植栽・緑化施設、インターロッキングブロック、縁石、照明施設、ストリートファニチャー、石張擁壁、階段、転落防止柵)	106	0	0	106	歩道美化 取付遊歩道(階段)
電線類地下埋設施設									
電柱電線類移設									
地域冷暖房施設							—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等									
公共公益施設と一体的に整備する情報化基盤施設									
合計	—	—	—		106	0	0	106	

市道天神町新屋線 説明図3

【道路】 電線共同溝・改築 歩道整備
 【高質空間形成施設】 緑化施設等



高質空間形成施設(緑化施設等)
 歩道美化化(植栽・緑化施設、インターロッキングブロック、縁石、照明施設、ストリートファニチャー、石張擁壁、階段、転落防止柵)

上田城跡公園(武者溜り)整備に合わせて隣接する市道の歩道整備、電線類地中化、歩道の高質化を一體的に整備することで、景観形成の相乗効果が期待できる。

既存建造物活用事業

高質空間形成施設

単位:百万円

【交付対象施設】 施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付対象 事業費	交付対象事業費の内訳			備 考
				設計費	施設整備費		
					購入費	移設・改築	
上田駅前広場	上田市	水車リニューアル 1基	45	5		40	

上田駅駅前広場
【既存建造物活用事業 高質空間形成施設】

上田駅 駅前広場

既存建造物活用事業 高質空間形成施設
■水車リニューアル【緑化施設等(モニュメント)】



現在の水車は、水流の減少により安定的な稼働ができていない



用水引込(夏季)や、水中ポンプ設置(冬季) 水をためられる水受けに改修(棚板、底板)

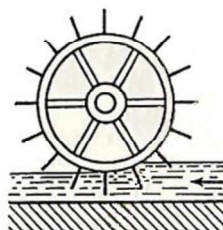
上田駅 駅前広場の概要

地域生活基盤施設 広場
■ 上田駅前広場

水車

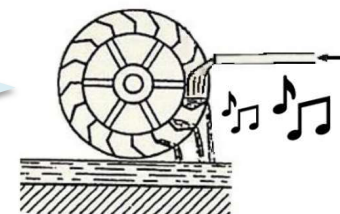


上田の玄関口である上田駅 駅前広場を「上田の玄関」として、ふさわしいモニュメントに復活



下掛式

リニューアル



中掛式

水車もたらす落水音、水跳ね光り輝く水しぶき、吹き抜ける風
視覚的、聴覚的な効果により駅前広場を癒しの場に

地域生活基盤施設 広場による 上田駅駅前広場の改修と一体的に整備することで、来訪者の目を楽しませるだけでなく、水車もたらす落水音、水跳ね光り輝く水しぶき、吹き抜ける風による癒し効果は、広場を上質で魅力的な空間にリニューアルします。